

「平成 27年 10～12月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－ 業況、今回も横ばい圏内 －

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細については別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	平成 27年 12月 1日～7日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 546社
回収状況	回収数 543社（回収率 99.5%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

①平成 27年 10～12月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－11.4となった。平成 27年 9月の前回調査（－12.4）と比べてプラス 1.0 ㊦と横ばい圏内であった。消費税引き上げ後に調査した平成 26年 6月以降は小幅な動きが続く。

②平成 28年 1～3月期の見通し

次期の業況 DI は 0.6 ㊦改善の－10.8 を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	今期	次期見通し	
二輪車部品製造	50	-33.3	-22.0	-14.0	業況DIは2四半期ぶりの改善。受注増に関する明るいコメントも多くみられる。
自動車部品製造	69	-24.6	-25.0	-11.8	業況DIは3四半期連続の横ばい。受注状況は良いと悪いでまちまち。
機械部品製造	52	-7.5	-3.8	-15.4	業況DIはわずかながら3四半期ぶりの改善。ただし売上額DIは悪化。
楽器部品製造	18	10.5	5.6	-5.6	業況DIは悪化するもプラス水準を維持。
繊維製造	25	-16.0	-16.0	-4.0	業況DIは横ばい。原材料価格の高止まり和らぐ。
卸売業	67	-11.8	-23.9	-19.4	業況DIは2四半期ぶりの悪化。ただし売上額DIと収益DIは改善。
小売業	54	-7.5	-22.2	-22.2	業況DIは3四半期ぶりの悪化。大手に対抗するための差別化に取り組むコメントが多くみられる。
建設業	64	-7.9	6.3	-1.6	業況DIは2四半期連続の改善。人手不足に関するコメント多い。
不動産業	41	-12.2	-2.4	2.4	業況DIは3四半期ぶりの改善。在庫DIはマイナスとなり、在庫不足の状況。
飲食・宿泊・レジャー等	10	-30.0	-20.0	-50.0	業況DIは3四半期ぶりの改善。各主要項目も軒並み改善し、年末に向けた集客に奔走している状況。

本件のお問い合わせ先

特非) 静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2 丁目 7-1 浜松商工会議所会館 5 階